業務部速報

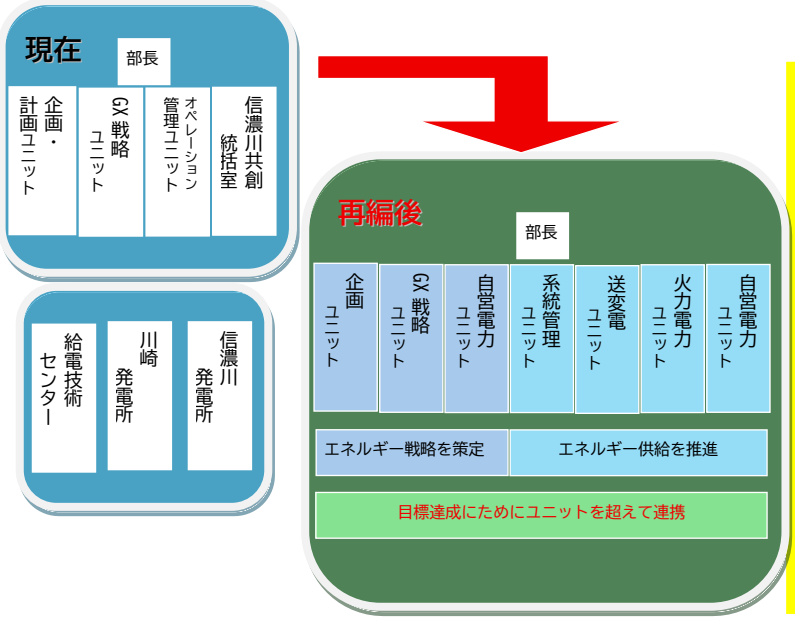
No. 80
発行 25. 11. 21
JR東労組 業務部

エネルギー企画部門 JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について

提案を11月19日に受ける！その①

JR東労組は、エネルギー企画部における「JR 東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方」について提案を受けました。提案にあたり提案件名が二転三転したことに伴い、交渉冒頭に会社に指摘をし、会社は提案件名が変わった事実と指摘を受け止め、議論をはじめてきました。

組織の再編



【再編後】		【現在】
○企画ＵＴ	⇒	○企画・計画ＵＴ（企画）
○ＧＸ戦略ＵＴ	⇒	○ＧＸ戦略ＵＴ
○自営電力ＵＴ	⇒	○企画・計画ＵＴ（計画） 用地・線下管理センター 信濃川地域共創統括室
○系統管理ＵＴ	⇒	○中央給電指令
○送変電ＵＴ	⇒	○オペレーション管理ＵＴ（送変電） 給電技セ（ＭＣ含む）
○火力発電ＵＴ	⇒	○オペレーション管理ＵＴ（火力） 川崎発電所
○水力発電ＵＴ	⇒	○オペレーション管理ＵＴ（水力） 信濃川発電所 信濃川地域共創事務所

○本社組織の「グループ戦略部門」となる。
○メンテナンスセンターの保守エリアは変更しない。
○「信濃川地域共創統括室」「信濃川地域共創事務所」は地域の方へは、どこで業務を行うか伝えていく。
　担務につく専門の社員はつくっていく。
○発電所・技術センターの業務自体を移管することは考えていない。
○採用は引き続き、力を入れていく。地元希望の学生や社員の希望も聞いていく。

組織再編に至る問題意識・前回の組織再編による成果と課題

エネルギー企画部としても会社の組織再編の方向性に則り、目的をスムーズに実現するために検討し、提案している内容をやりたいと考えた。諸課題の実現へ第一線の職場と企画部門の再編することで、各種の調整でワンストップとすることで戦略的かつ効率的な体制を目指す。

【成果】既存の設備の老朽化の交換等、本社の企画部門があり、本社に伺いを立て行う組織がワンストップ化していける組織がポイントの一つとなり、より課題解決がスピーディになる。

【課題】ミッションを達成していくことである。安定的な電力の供給すること。発電所を自営で持ち、供給していくことを安定的にやることが課題。

その②へ